

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立村所小学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を促す複線型の授業づくり

複線型の授業づくり

導入場面

(家庭 → 学校へ)



授業を始めます。
今日の授業は…

自己決定の場

私はタブレットを使って、友達
とまとめていきます。

- ・教科書をまずは見てみよう…
- ・タブレットを使って検索しよう…
- ・思考ツールを使って…
- ・オンラインでつないで…
- ・先生にアドバイスをもらいながら…

誰とどのように…
自己調整しながら…

ひとりで



途中参照・他者参照による学び
協働編集による学び

友達と



先生と



振り返りの場

習熟場面

(学校 → 家庭へ)



僕は、もう一度ノートにまとめてみよう



私は、教科書を見直してみよう

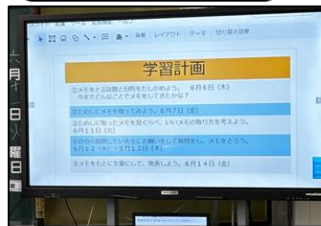


僕は、ドリル教材で復習しよう

・私はYチャートを使って
友達と意見を出し合った
ことで、考えを深めること
ができました。
・私は、〇〇さんの意見を
参考に、教科書を見直し
たことで、昔と今の違いを
整理することができました。

自己の活動の振り返りや
授業での達成内容を入力
(学習ログの蓄積)

学習ログの蓄積シート



教師が流れを提示

形態・方法・内容等を
自己決定

自分のため	探究・課題解決方法	決定	進捗状況	達成度
① 西米良村のゆず加工品はどの様に作られているのかを調べる。	ペアで	決定	進捗	達成
② 西米良村のゆず加工品は、どのようにつくられているのかを調べる。	ペアで	決定	進捗	達成
③ 西米良村のゆず加工品は、どのように作られているのかを調べる。	グループで	決定	進捗	達成
④ 西米良村のゆず加工品は、どのように作られているのかを調べる。	ペアで	決定	進捗	達成
⑤ 西米良村のゆず加工品は、どのように作られているのかを調べる。	ペアで	決定	進捗	達成
⑥ 西米良村のゆず加工品は、どのように作られているのかを調べる。	グループで	決定	進捗	達成
⑦ 西米良村のゆず加工品は、どのように作られているのかを調べる。	グループで	決定	進捗	達成



全体で共有
(電子黒板)

かかっている人
自分と意見が
ちがう人
だれと
学ぶ？
その意見が
参考になる人
なぜ、その人のところへ？理由を考えよう。

達成率 (%)	振り返り学習内容に関すること	振り返り学習方法に関すること
100%	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。	ペアでの振り返り学習が、自分の振り返り学習に活用された。
98%	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。
96%	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。
94%	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。
38%	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。
100%	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。	自分の振り返り学習の成果は、授業で活用することができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立村所小学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】 学校・家庭・地域で育成する情報活用能力

学校

協働編集・他者参照

スライドを使っでの発表

協働的な学び

プログラミング教室での学び

外部講師とつないだオンラインの活用

学校での学び

家庭

家庭学習における国語の音読練習

課題のやりとりはクラウド上で行っている。

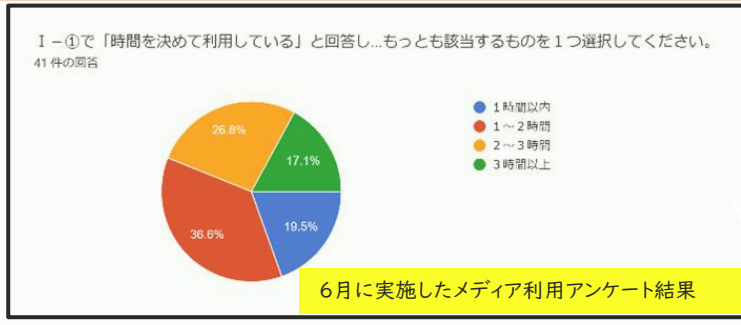


学校

家庭

地域

保小中連携の中で取り組んでいる情報モラル教育の推進 (R5~R7)



情報活用能力系統表

情報活用能力		世の中の人々を情報と結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを表現したりして
中学校の段階		中学校
A 知識及び技能	情報と情報技術を適切に活用して、課題の発見・解決や学習の促進、課題の解決に活用するなどの能力を育成すること。	① 様々な情報やデータを適切に活用して課題を解決すること。 ② 様々な情報やデータを適切に活用して課題を解決すること。 ③ 様々な情報やデータを適切に活用して課題を解決すること。 ④ 様々な情報やデータを適切に活用して課題を解決すること。
	情報と情報技術を適切に活用して、課題の発見・解決や学習の促進、課題の解決に活用するなどの能力を育成すること。	① 様々な情報やデータを適切に活用して課題を解決すること。 ② 様々な情報やデータを適切に活用して課題を解決すること。 ③ 様々な情報やデータを適切に活用して課題を解決すること。 ④ 様々な情報やデータを適切に活用して課題を解決すること。
B 思考	様々な課題や問題を発見し、それらを解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、課題を解決するための計画を立て、実行し、評価するなどの能力を育成すること。	① 様々な課題や問題を発見し、それらを解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、課題を解決するための計画を立て、実行し、評価するなどの能力を育成すること。 ② 様々な課題や問題を発見し、それらを解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、課題を解決するための計画を立て、実行し、評価するなどの能力を育成すること。 ③ 様々な課題や問題を発見し、それらを解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、課題を解決するための計画を立て、実行し、評価するなどの能力を育成すること。 ④ 様々な課題や問題を発見し、それらを解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、課題を解決するための計画を立て、実行し、評価するなどの能力を育成すること。
	様々な課題や問題を発見し、それらを解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、課題を解決するための計画を立て、実行し、評価するなどの能力を育成すること。	① 様々な課題や問題を発見し、それらを解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、課題を解決するための計画を立て、実行し、評価するなどの能力を育成すること。 ② 様々な課題や問題を発見し、それらを解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、課題を解決するための計画を立て、実行し、評価するなどの能力を育成すること。 ③ 様々な課題や問題を発見し、それらを解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、課題を解決するための計画を立て、実行し、評価するなどの能力を育成すること。 ④ 様々な課題や問題を発見し、それらを解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、課題を解決するための計画を立て、実行し、評価するなどの能力を育成すること。

ノーメディアデーの推進 (学校・家庭・地域との連携)

子供たちに取り組めるレベルを設定させて、自主的な実践につなげていく。

レベル1：家庭学習中はノーメディア
レベル2：メディアを利用するのは1時間以内
レベル3：下校した後は、最遅までノーメディア
レベル4：一日中
(学校にいる時間以外の時から最遅まで)

コース1：読書+家庭で運動コース
コース2：読書+家庭でカードゲーム(トランプ、ウノ、花札など)
コース3：読書+家庭でボードゲームコース
(オセロ、将棋、入道ゲーム、ドミノなど)
コース4：読書+家庭でおしゃべりコース
コース5：読書+オンラインコース
コース6：読書+その他コース(料理やものづくりなど)

日付	レベルを達成しよう!	コースを達成しよう!	読んだ本の名前	したことや感想を書こう!
(例)	レベル3	コース2	ぐりとぐら	かきくくくトランプをしました。みんなでもうあつて、たのしかったです。

系統表と関連させながら、発達段階に応じた指導を行っている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立村所小学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】 家庭から学校に学習をつなぐコネクト学習

コネクト学習予習型

クラウドを活用して事前に考えをもたせてくることで、教師が授業前に児童の考え方の把握、考え方の修正やアドバイスにつなげる。また、スムーズな授業展開を通して、協働解決の時間の確保や習熟時間の充実につなげる。

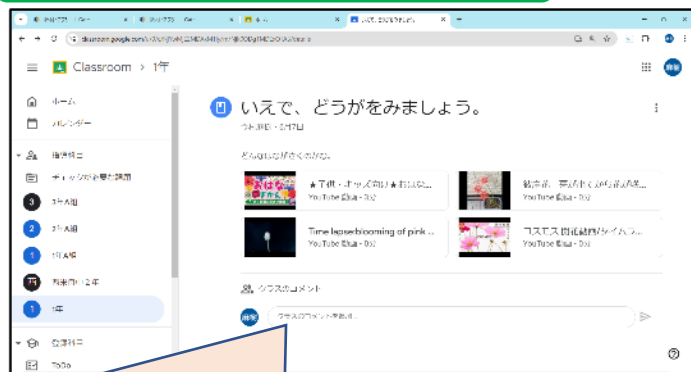
家庭

学校

家庭

【問いをつかむ段階】を家庭で行う

小1 国語 単元名: つばみ



花のつばみに対する児童の知的好奇心を高めるために、Google Classroomを活用し、花のつばみが開いていく動画を配付した。事前に児童に視聴させることで、様々な花に対する興味が高まった。

【考えをもつ・問いを解決する段階】の時間の充実



児童は画面の自分の絵を見ながら、なぜそのような絵を描いたのかを理由を付けて説明することができていた。

【まとめる・確かめる・振り返る段階】から次のステップへ

児童の反応

ほとんどの児童が「よくできた」、「できた」と評価し、学習に対して納得感を得ることができていた。

家庭で考えをもたせることで導入の時間を短縮し、協働作業・協働解決・確かめる時間を確保する。

コネクト学習のねらい（一人二台のタブレットの活用）

- ① 学びに連続性をもたせる。
- ② 時間を効率的に使う。
- ③ 主体性を高め、確実な学びにつなげる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立村所小学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】 学校から家庭に学習をつなぐコネクト学習

コネクト学習復習型

学校で学んだ内容について、AI 型ドリルで復習したり、Microsoft Teamsの音読練習を活用することにより、個別最適な学びにつなげる。

家庭

学校

家庭

【問いをつかむ段階】

【考えをもつ・問いを解決する段階】

【まとめる・確かめる・振り返る段階】の時間を十分に確保し、家庭での学習につなぐ

小1 算数 単元名:たしざん(1)



発表ノートを使い、お互いの考えをタブレット画面を見せ合いながら伝え合うことで、考えを確認したり、深めたりすることができた。

GoogleFormsを使い、前時の振り返り結果を本時の初めに提示したことで、児童自身がクラス全体の実態を知ったり、どの部分に焦点を当ててがんばりたいかを明確にしたりすることができ、本時の学習への意欲をもたせることができた。

まとめが終わった後は、問題集、AI型ドリル教材という流れで練習問題に取り組ませた。

児童の反応

本時の振り返りにおいて、同項目が「できた」と答える児童の割合が増えた。

家庭での学習

家庭で本時の類似問題を解かせ、学びが確実に定着するように取り組ませた。



コネクト学習のねらい（一人二台のタブレットの活用）

- ① 学びに連続性をもたせる。
- ② 時間を効率的に使う。
- ③ 主体性を高め、確実な学びにつなげる。

学校でスタンダードの授業の流れを行い、家庭で自分の力に合わせて「確かめる」学習を充実させる。

【取組内容】 共有シートを用いた協働作業の中で実現する研修の深化

模擬授業の様子

研究協議会の様子

協議会における共有シート



児童役として小中学校の職員に参加してもらい、模擬授業を行った。

授業後の協議場面で共有シートを用いながら入力し、全体共有の中で情報の整理分析を行った。

様々な角度から授業を分析できたことで、研究に生かすことができた。

事後アンケート

アンケートの結果をAIで分析

研究推進委員会等
で報告

[illegible]

参加した教職員にアンケートを実施した。

[illegible]

活用のメリット

クラウドの活用により、意見の集約、共有、分析、保存が容易になり、協議が深まりのあるものになる。